※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　専門　家庭科

教科	(専)家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活、子どもの保育、子どもの福祉に関する事項を理解し、子ども文化とかかわらせて考え、保育の場で活かすことができるようにしよう。

２　学習の到達目標

a: 子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活など保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。保育に関する技術を総合的に身に付ける。
b: 子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付ける。
c: 子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的・主体的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活など保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 保育に関する技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的・主体的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	子どもの生活	＊保育基礎を学ぶにあたってオリエンテーション ○健康管理と事故防止 ＊実習 ＊グループワーク	a:子どもの健康管理と事故防止に対する基本的な知識を身につけている。 b:子どもの健康管理と事故についてその予防策や注意点などを考察することができる。 c:子どもの事故の実態や原因を踏まえて事故防止や安全教育に結びつけて考えることができる。	定期考査	授業観察 プリント提出 振り返りシート 発表	授業観察 プリント提出振り返りシート 発表
	子どもの文化	○子どもの文化の意義を支える場 ○子どもの遊びと表現活動 ＊実習 ＊グループワーク	a:子どもの文化を支える場や遊びの意義、発達とのかかわり、遊具の選び方などについて理解している。 b:遊びと発達のかかわりを踏まえ、かかわり方を工夫して考察することができる。 c:遊びについて、子どもの年齢や発達に応じた遊びかたや工夫を主体的に考えることができる。			
二学期				定期考査	授業観察 プリント提出 振り返りシート 発表	授業観察 プリント提出振り返りシート 発表
	子どもの福祉	○子ども観 ○子どもの福祉 ○子育て支援 ＊実習 ＊グループワーク	ａ：子ども観について、社会的背景や西欧と日本の比較などを通じ、理解している。児童福祉の基本的な考え方について理解している。 ｂ:子どもの福祉などの課題について自分の考えをまとめることができる。 ｃ：子どもの福祉について主体的に学び、取り組むことができる。			
三学期				定期考査	授業観察 プリント提出 振り返りシート 発表	授業観察 プリント提出 振り返りシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度